

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○伝統的な技術・技法の継承と高度化
主な取組	県工芸士の認定		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・ 沖縄県工芸士認定制度の活用や人材育成を通して、伝統的な技術・技法の継承と高度化に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
高度の技術・技法を保持し、かつ後継者の育成等に尽力している者を知事が「沖縄県工芸士」として認定することで、励みを与えるとともに、社会的評価を高め、もって工芸産業の振興を図る。	県	優れた技術・技法を保持する工芸産業従事者を「沖縄県工芸士」として認定		
		県工芸士認定者数(累計)		
		5人	5人(10人)	5人(15人)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	工芸人材育成事業				予算事業名	工芸人材育成事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	3,916	3,434		県単等	直接実施	5,418
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
産地組合、市町村から4名の推薦があり、認定委員会による審査の結果、4名を沖縄県工芸士として認定した。					産地組合、市町村へ推薦を募り、目安として5名程度の認定を見込んでいる。		

活動指標名	県工芸士認定者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	6人	12人	4人	5人（10人）	80.0%	概ね順調	工芸産地組合または市町村からの推薦を受けた工芸従事者4名について、外部有識者等で構成される認定委員会による書類審査、作品審査の上、沖縄県工芸士として4名を認定した。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度は、工芸産地組合と市町村から4名の推薦があり、審査の結果4名を工芸士として認定した。目標値の5名を下回ってはいるが、前年度までの実績を加味して「概ね順調」と判断した。高度の伝統的技術および技法を有する者を工芸士として認定することにより、伝統工芸品を製造する者に励みを与えるとともに社会的評価の向上につながった。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
市町村等を対象に毎年実施している「工芸産業振興施策説明会」において、候補者の調査、把握について協力を求めるとともに、市町村との連携強化を図り、推薦にふさわしい工芸従事者の掘り起こしを行う。	琉球ガラス2名、壺屋焼1名の推薦があったほか、産地組合が形成されていないその他工芸品分野として、市町村から琉球焼1名の推薦があった。目標値の5名を下回っているが、前年度までの実績を踏まえるとおおむね目標どおり推移している。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	引き続き、産地組合と連携を図り、候補者の掘り起こしをする必要がある。加えて、組合に所属しない工芸従事者および産地組合が形成されていないその他工芸品分野の人材の掘り起こしを継続する必要がある。	⑧ その他	市町村等を対象に実施する工芸産業振興施策説明会において、候補者の調査、把握について協力を呼びかけるなど、市町村および産地組合と連携強化を図り、推薦にふさわしい工芸従事者の掘り起こしを行う。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○伝統的な技術・技法の継承と高度化
主な取組	工芸技術者の育成		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・ 沖縄県工芸士認定制度の活用や人材育成を通して、伝統的な技術・技法の継承と高度化に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
工芸技術者の人材育成を図るため、おきなわ工芸の杜の設備・機器を活用し、基礎的・専門的な技術研修(織物、紅型、漆芸、木工)を行う。	県	工芸振興センターにおける基礎的・専門的な技術研修		
		工芸技術研修修了者数(累計)		
		8人	8人(16人)	8人(24人)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL http:www.oki-kougeicenter.info

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)							
予算事業名			高度工芸技術者養成事業			予算事業名			高度工芸技術者養成事業				
主な財源		実施方法		R4年度 決算額		R5年度 決算見込額		R6年度					
県単等		委託		22,537		26,669		主な財源		実施方法		当初予算額	
県単等		委託		22,537		26,669		県単等		委託		30,567	
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画							
令和5年4月からの1年を通して、織物3名、紅型2名、漆芸4名、木工4名の計13名に研修を実施した。						令和6年4月からの1年を通して、織物2名、紅型2名、漆芸4名、木工5名の計13名に研修を実施する。							

活動指標名		工芸技術研修修了者数（累計）		R5年度			進捗状況		活動概要				
実績値		R3年度		R4年度		実績値(A)		目標値(B)		達成割合 A/B		令和5年4月～令和6年3月までの1年間研修を実施し、織物3名、紅型2名、漆芸4名、木工4名の計13名が修了した。	
		19人		12人		13人		8人（16人）		100.0%			

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値「8名」に対し、実績値は「13名」と目標を達成しており「順調」と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○研修に使用する機器類や研修工程等について再確認し、研修人数に応じた指導方法が可能となるよう体制を一部見直した。	設備の配置の見直し、効率的な工程の進め方について改善を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	今年度より開始する随時受入研修の実施に対応するための指導方法の検討が必要である。	① 執行体制の改善	委託業者と当該の課題解決について協議し方針を定めていく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○工芸事業者等の経営基盤の強化
主な取組	技術講習等の実施		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・ 原材料の安定確保、製造技術の向上、工程の見直し等により安定した製品供給体制の確立を図り、工芸事業者等の経営基盤の強化に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の伝統的工芸品に使用される原材料の持続的供給を可能とするため、原材料の供給事業者の技術向上に資する体制の構築と原料の調達可能性の調査を行う。	県,市町村,工芸産地組合等	原材料の安定確保に向けた品質維持及び効率的な活用に関する技術講習等の実施		
		技術講習会の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課		【 098-866-2337 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			工芸原材料供給強化・調査事業			予算事業名		工芸原材料供給強化・支援事業	
主な財源		実施方法		R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
県単等		委託		2,246	5,826	主な財源		実施方法	当初予算額
						県単等		委託	9,532
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画			
施策説明会を宮古・石垣で開催し、産地組合と原材料確保についての意見交換を行うとともに、壺屋焼の原材料となる化粧土の賦存量調査を実施した。						R5調査にて出土した土の試験研究を行い、化粧土の評価結果を組合へ講習会を行うとともに、産地組合の原材料確保に向けた計画策定支援等を行う。			
活動指標名		技術講習会の実施回数（累計）		R5年度			進捗状況		活動概要
		R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			施策説明会を宮古石垣で開催し、産地組合と原材料確保について意見交換を行うとともに、壺屋焼の原材料となる化粧土の賦存量調査を実施した。調査の遅れにより化粧土の評価・結果の講習会についてR6に実施する。
実績値		1回	2回	2回	1回（2回）	100.0%	順調		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果									
工芸産業振興施策説明会を宮古・石垣で開催し、工芸産地組合と原材料確保について意見交換を行うとともに、壺屋焼の原材料となる化粧土の賦存量調査を実施したことから順調と判断した。意見交換により、次年度の効果的な予算事業の企画につながった。									
(2) これまでの改善案の反映状況									
令和5年度の取組改善案					反映状況				
藍、苧麻について事業者間の意見交換、ネットワーク構築に向けた取り組みを引き続き行う。					令和5年度は、工芸産業振興施策説明会を宮古・石垣で開催し、工芸産地組合と原材料確保についての意見交換を行うとともに、壺屋焼の原材料となる化粧土の賦存量調査を実施した。				

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	伝統工芸品に使用される原材料の持続的供給を可能とするため各原材料の枯渇状況に合わせた施策を長期・具体的な取組計画を立て実施する必要がある。	⑧ その他	R5調査にて出土した土の試験研究を行い、化粧土の評価結果を組合へ講習会を行うとともに、産地組合の原材料確保に向け、原材料確保計画を策定する産地組合を支援する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○工芸事業者等の経営基盤の強化
主な取組	製造技術の向上		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・ 原材料の安定確保、製造技術の向上、工程の見直し等により安定した製品供給体制の確立を図り、工芸事業者等の経営基盤の強化に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
織物及び紅型の品質の維持・改善・向上を目的に、沖縄県伝統工芸産業振興条例の規定に基づき、検査対象織物について検査を実施する。	県	技術向上及び品質の維持を目的とした織物検査事業の実施		
		検査所配置数(累計)		
		10箇所	10箇所(20箇所)	10箇所(30箇所)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		織物検査事業			予算事業名		織物検査事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	20, 124	20, 923		県単等	直接実施	24, 546	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
県内10検査所に11名の検査員を配置し、全体で8, 451点の染織物検査を実施した。					引き続き各検査所での染織物検査を実施する。			

活動指標名	検査所配置数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内10ヵ所（那覇市2ヵ所、宮古島市、石垣市、沖縄市、大宜味村、読谷村、南風原町、久米島町、与那国町）に「沖縄県伝統工芸製品検査員」を11名配置し、染織物工芸品の検査を実施した。
	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所（20箇所）	100. 0%	順調	
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
令和４年度の検査数は11, 268点、令和５年度の検査数は8, 451点であった。本県伝統工芸製品の品質の維持に加え、ブランド力の向上に寄与している。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度 of 取組改善案				反映状況			
各産地組合への事業説明により、事業の重要性および必要性への理解を得た上で、検査員の推薦を依頼し、検査員の確保および確実な事業実施につなげる。				各産地組合への事業説明により、事業の重要性および必要性への理解を得ることができ、検査員の推薦を依頼することで、検査員の確保および確実な事業実施ができた。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	染織従事者は減少傾向にあり、伝統工芸製品検査員の確保が困難になりつつある中、検査員を早めに確保する必要がある。	② 連携の強化・改善	各産地組合への事業説明により、事業の重要性および必要性への理解を得た上で、検査員の推薦を依頼し、検査員の確保および確実な事業実施につなげる。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○おきなわ工芸の杜を活用した伝統工芸の啓発普及と消費の拡大
主な取組	おきなわ工芸の杜の活用		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・ おきなわ工芸の杜を活用した伝統工芸の体験学習や情報発信等により、消費者と作り手との交流を広げ、伝統工芸の啓発普及と消費の拡大を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
おきなわ工芸の杜を活用し、消費者と作り手との交流を広げ、伝統工芸の啓発普及と消費拡大を促進するため、貸し工房、共同工房、展示室、セミナー開催等、利活用の推進を図る。	県,指定管理者	おきなわ工芸の杜における貸し工房、共同工房、展示室、セミナー等の活用		
		施設の総利用者数(累計)		
		36,000人	36,000人(72,000人)	36,000人(108,000人)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)				
予算事業名			おきなわ工芸の杜指定管理費			予算事業名		おきなわ工芸の杜指定管理費		
主な財源		実施方法		R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度				
						主な財源		実施方法		当初予算額
県単等		委託		81,369	74,873	県単等		委託		69,257
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画				
セミナーやワークショップ等にて工房運営や販路開拓の支援を行った。また、施設内の展示管理を行い、沖縄空手会館との連携等についても検討を進めた。						伝統工芸品の展示やHP及びSNS等での情報発信、セミナーやワークショップの実施のほか、施設入居者の段階に応じた事業支援等を行う。				

活動指標名		施設の総利用者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
		R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値		-人	33,296人	65,671人	36,000人 (72,000人)	100.0%	順調	セミナー、ワークショップを4回、異業種等との交流会を2回開催した。 また、入居者への事業支援、相談対応やイベント情報の発信、マスコミ取材対応を行い、自主事業イベントについては2回開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「施設の総利用者数」の目標値「41,000人」に対し「65,671人」と目標値を達成し、達成割合が100%であることから順調と判断した。
各種イベントの実施やセミナー、ワークショップを開催することで施設の認知度を高め、R4年度よりも多く来館者の集客を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○SNSにおけるイベント情報の投稿をはじめとした情報発信に加え、近隣施設の空手会館や小学校等と連携を図り、広報を強化する。	○SNSにおいてリアルタイムでの情報発信を強化したことでフォロワーが増加し、施設認知度の向上や来館者数の増に寄与した。 ○空手会館とは毎月定例会議を実施することで、イベント情報や施設管理の事例を共有し、互いのイベント時に駐車場を共用するなど連携した。 ○また、近隣の小学校等とは施設見学対応や給食用漆器の利用において連携を図り、施設及び工芸品の認知度向上に寄与した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	供用開始後2年が経過したが、いまだ近隣住民や工芸従事者でも当該施設を知らない人は多いため、イベントの周知に加え、施設の取組や実施事業についても広報を強化する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	SNSにおけるイベント情報の投稿をはじめとした情報発信に加え、近隣施設の空手会館や小学校等と連携を図り、広報を強化する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○おきなわ工芸の杜を活用した伝統工芸の啓発普及と消費の拡大
主な取組	作り手と消費者との交流促進		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・ おきなわ工芸の杜を活用した伝統工芸の体験学習や情報発信等により、消費者と作り手との交流を広げ、伝統工芸の啓発普及と消費の拡大を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
おきなわ工芸の杜を活用し、消費者と作り手との交流を広げ、伝統工芸の啓発普及と消費拡大を促進するため、イベントやワークショップを開催する。	県,指定管理者	おきなわ工芸の杜の貸し工房及び体験工房における消費者との交流		
		入居事業所数(累計)		
		10事業所	10事業所(20事業所)	10事業所(30事業所)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課	【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名		おきなわ工芸の杜指定管理費				予算事業名		おきなわ工芸の杜指定管理費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額			R6年度			
				主な財源		実施方法	当初予算額		
県単等	委託	81,369	74,873			県単等	委託	69,257	
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画			
貸し工房及び体験工房の入居者募集及び選定を行った。また、イベント事業の誘致や自主事業イベントの実施による交流を促進した。						貸し工房の入居者募集と選定を行う。また、イベント事業の誘致や自主事業イベントの実施による交流を予定。			

活動指標名	入居事業所数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-事業所	16事業所	19事業所	10事業所（20事業所）	100.0%	順調	入居事業者の募集及び選定を行った。各工房やイベントにて体験学習を実施し、自主事業イベントは2回開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ホームページやSNSでの案内に加え、工芸従事者や関係事業者向けに入居者募集案内を行い、目標値以上の入居事業所数となったことから「順調」とであると判断した。おきなわ工芸の杜における消費者と作り手の交流促進及び工芸事業者に対する支援につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○引き続きホームページ等で入居者募集案内を行うとともに、業界団体等へ積極的に周知を行う。	○R4年度は空室が続いていた体験工房（ガラス）について、積極的な周知の継続によってR5年度は入居者が決定し、体験工房は4室すべて満室となった。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	貸し工房については、各入居者の事業進捗度合いによって早期退去する必要があるため、インキュベート施設としてのPRは継続して行う必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続きホームページ等で施設案内を行うとともに、業界団体等へ積極的に周知を行う。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○新たな工芸品の開発及び二次加工製品製造の支援
主な取組	工芸研究事業		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・産地や試験研究機関等との有機的な連携を図り、工芸の要素・資源や技術・技法を活用した新たな工芸品の開発及び二次加工製品の製造の支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
市場ニーズを踏まえた新たな商品開発等を図るため、工芸技術に関する試験研究を行い、工芸業界にその成果を還元する。	県	工芸技術の試験研究や製品開発の実施		
		工芸技術の試験研究・開発実施件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名		工芸研究費				予算事業名		工芸研究費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度					
				主な財源	実施方法	当初予算額			
県単等	直接実施	878	897	県単等	直接実施	1,090			
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画					
染織・木漆工に関する試験研究、開発研究業務を2テーマ（染織分野、木漆工分野等）実施し、工芸業界関係者へ周知した。				染織・木漆工に関する試験研究、開発研究業務を2テーマ（染織分野、木漆工分野等）実施し、工芸業界関係者へ周知する。					

活動指標名	工芸技術の試験研究・開発実施件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	4件	2件	2件	2件（4件）	100.0%	順調	染織・木漆工に関する試験研究、開発研究業務を2テーマ（染織分野、木漆工分野等）実施し、工芸業界関係者へ周知した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

試験研究、開発研究業務合わせた目標値「2テーマ」に対し、実績値は「2テーマ」と目標を達成しており「順調」と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○業界の課題を踏まえた即効性のある技術研究テーマを設定した。 ○産業まつりや工芸の杜でのイベントなどと連携し、センター展を開催するなど、周知を強化した。	街路樹の利活用について関係機関や事業者と連携し研究を行い、サンプル製品作成の技術支援を実施した。木製織機の生産技術の継承に関する研究により、後継者への技術移転が可能となった。 産業まつり、工芸の杜まつりなどにおいてセンターの研究事業を周知できた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	業界の課題の変化を踏まえた研究テーマを設定する。	⑥ 変化に対応した取組の改善	業界の課題を踏まえた即効性のある技術研究テーマ設定に向け関係団体等の意見の聴取等を行い検討する。
⑦ その他（改善余地の検証等）	技術情報、研究成果の広報を充実し、周知の強化を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	産業まつりや工芸の杜でのイベントなどと連携し、センター展を開催するなど、周知を強化する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○新たな工芸品の開発及び二次加工製品製造の支援
主な取組	技術支援事業		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・産地や試験研究機関等との有機的な連携を図り、工芸の要素・資源や技術・技法を活用した新たな工芸品の開発及び二次加工製品の製造の支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伝統工芸技術、技法の継承と高度化(工芸産業の振興)を目的に工芸産地組合や工芸事業所(織物、紅型、漆芸、木工芸ほか)を対象とした講習会および技術指導の実施、技術相談を実施する。	県	産地等技術指導の実施		
		工芸技術指導事業所数(累計)		
		100事業所	100事業所(200事業所)	100事業所(300事業所)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	工芸技術指導費			予算事業名	工芸技術指導費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
県単等	直接実施	1,682	1,452	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	1,921
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
外部講師（県内外在住者）による講習会の実施や専門職員による技術指導をした。				工芸産地組合および染色漆芸木工芸の従事者に向けた講習会開催を外部講師（県内外在住者）、専門職員による現場指導、技術相談をする。		

活動指標名	工芸技術指導事業所数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		工芸産地組合および織物・染色、漆芸、木工等の工芸縫製製品生産者、従事者向けの講習会開催、専門職員による現場指導、技術相談や情報提供をした。
	66事業所	183事業所	229事業所	100事業所（200事業所）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄本島のみならず石垣島、西表島、竹富島にて県内講師による技術指導の実施とともに県外講師による講習会開催を通して技術指導ができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○産業技術連携推進会議（公設の試験研究機関等）の情報ネットワークを活かし、各産地組合等のニーズに沿った講習会の内容に見直した。	八重山藍の栽培から天然灰汁発酵建て技術講習会、琉球の失われた工芸のはなし～錫工芸を中心に～、琉球の衣装「ドゥシン・カカン」について、下地康子の世界観制作秘話について、蒸し・水元技術講習会など離島を含め5つの講習会を開催し、多くの工芸事業者が参加した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	例年年度当初、各産地組合等に要望調査を発出し回答を求めている。多様な要望に対して、より詳細に聞き取り、適切な企画・立案が必要である。	③ 他地域等事例を参考とした改善	要望調査の回答をベースに、必要に応じて現地訪問を行い、直接要望を聞き取り、現場確認を行う等、各産地組合等のニーズに沿った講習会の内容を検討する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○おきなわ工芸の杜における作り手と異業種の交流促進及び国内外への効果的な販路拡大等
主な取組	作り手と異業種の交流促進		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・おきなわ工芸の杜において、作り手と異業種の交流を促進し、新たな市場開拓や商品開発、ビジネスモデルの創出を推進するとともに、消費者の感性に働きかける感性型製品の開発やブランド力の向上、おきなわ工芸の杜やICTを活用した県民や観光客に対する情報発信の強化、国内外への効果的な販路拡大等に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
おきなわ工芸の杜において工芸と異業種との協働を目的とした交流を促すため、セミナーやワークショップを開催する。	県,指定管理者	おきなわ工芸の杜において工芸と異業種との協働を目的とした交流会の実施		
		異業種交流会の実施件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課	【 098-866-2337 】		関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			おきなわ工芸の杜指定管理費			予算事業名		おきなわ工芸の杜指定管理費	
主な財源		実施方法		R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
						主な財源		実施方法	当初予算額
県単等		委託		81,369	74,873	県単等		委託	69,257
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画			
入居者、県内事業者、異業種等との交流を目的としたセミナー及びワークショップを2回開催した。						入居者、県内事業者、異業種等との交流を目的としたセミナー及びワークショップを2回開催する。			

活動指標名		異業種交流会の実施件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-件	2件	2件	1件（2件）	100.0%	順調	県内外の工芸従事者、支援者等のネットワークと入居者との交流を目的としたセミナー及びワークショップを2回開催した。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

異業種交流を目的としたセミナー及びワークショップを2回開催したことから、順調と判断した。コラボレーションによる新商品開発や販路開拓等の機会創出につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
工芸品の更なる認知度向上、販路開拓及び入居事業者の収益向上を図る為に、交流する異業種の分野については、面談やアンケート等を実施してニーズを把握したうえでセミナー及びワークショップを開催する。	面談やアンケート等を実施してニーズを把握したうえで、セミナー及びワークショップを開催した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	異業種交流については、入居者及び異業種事業者双方にニーズがあり、事業者としての経営力強化や販路拡大につながる効果的な交流の場となるよう引き続き取り組む必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	工芸品の更なる認知度向上、販路開拓及び入居事業者の収益向上を図る為に、交流する異業種の分野については、面談やアンケート等を実施してニーズを把握したうえでセミナー及びワークショップを開催する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	〇おきなわ工芸の杜における作り手と異業種の交流促進及び国内外への効果的な販路拡大等
主な取組	販路拡大		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・おきなわ工芸の杜において、作り手と異業種の交流を促進し、新たな市場開拓や商品開発、ビジネスモデルの創出を推進するとともに、消費者の感性に働きかける感性型製品の開発やブランド力の向上、おきなわ工芸の杜やICTを活用した県民や観光客に対する情報発信の強化、国内外への効果的な販路拡大等に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄の工芸品を一堂に集め展示紹介するほか、即売や実演・体験、産地講演会を行い、工芸品を暮らしの中へ活用する提案を行い消費拡大につなげる。	県、市町村、工芸事業者等	県外等における沖縄工芸フェアの開催		
		沖縄工芸ふれあい広場開催件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			沖縄工芸ふれあい広場事業			予算事業名		沖縄工芸フェア事業	
主な財源		実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
						主な財源		実施方法	当初予算額
県単等		負担	3,000	3,000		県単等		負担	3,000
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画			
東京銀座および沖縄県内にて沖縄の工芸品を一堂に集めた展示会を開催した。						沖縄の工芸品を一堂に集めた展示会を開催する。			

活動指標名	沖縄工芸ふれあい広場開催件数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1件	2件	2件	1件(2件)	100.0%	順調	東京銀座および沖縄県内にて沖縄の工芸品を一堂に集めた展示会を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

東京銀座にて県内工芸品を一堂に集めて展示会を開催した。また、おきなわ工芸の杜を活用して、沖縄県内でも開催した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
沖縄工芸品のさらなる認知度向上や販路開拓の為に、好評である現状の開催地を継続させつつ、新たな可能性（開催会場や費用等）についても検討を重ねる。 インターネットやSNSを活用したPRに加え、来場者アンケートにより広報効果を検証し、既存の客層に加えた新規客層の集客へつなげるよう工夫する。	早期に各産地へ意見照会を行い開催場所等を検討した結果、東京銀座での開催を継続しつつ、沖縄でも開催できた。 また、従来の広報に加え、インターネットやSNSを活用し、新規来場者の集客に努めた。 会場イベントについて、沖縄の歴史や各産地を紹介する講演会や三線演奏会等、集客効果が見込めるイベントプログラムを実施した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	催事内容等に関しては、工芸産地事業協同組合で構成される産地調整会議において決める。新たな取り組み等の検討にあたっては、多くの産地の意見を集約できるよう留意する必要がある。	② 連携の強化・改善	産地調整会議、産地報告会等、産地組合との意見交換の場を複数回設けて、催事内容や開催場所等について検討を重ねる。
⑦ その他（改善余地の検証等）	毎年度、同時期・同場所で開催し、認知度も高まり多くの来場者がある。高まった認知度を活かし、産地組合のさらなる収益につなげるよう、新たな取組を検討する必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	従来の広報に加え、インターネットやSNSを活用し、既存客と新規来場者の集客に努める。 また、継続的な取引が見込める商談の機会等を増やす等の新たな取り組みを検討する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○伝統工芸に触れる機会の提供
主な取組	展示会の開催		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・ 工芸品の認知度向上のため、展示会の開催や文化施設等との連携など、県民をはじめ多くの方々へ伝統工芸に触れる機会を提供し、沖縄工芸の魅力や価値の向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の優れた工芸品を公募し、表彰及び展示会を実施することで、工芸品を広く一般に紹介するとともに、生産者の意欲の高揚、技術、デザイン開発力、競争力の向上を図る。	県	作り手の技術向上及び県民への普及啓発		
		工芸公募展の開催件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課 【 098-866-2337 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名		沖縄県工芸公募展		予算事業名		沖縄県工芸公募展	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
				主な財源	実施方法		
県単等	委託	2,094	2,420	県単等	委託	3,500	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
作り手の技術向上及び県民への普及啓発のため、第45回工芸公募展を実施した。				作り手の技術向上及び県民への普及啓発のため、工芸公募展を実施する。			

活動指標名	工芸公募展の開催件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1件	1件	1件	1件（2件）	100.0%	順調	おきなわ工芸の杜にて沖縄県工芸公募展を開催し、作品の応募者数76人、応募点数91点、来場者数は719人となった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画の通り、おきなわ工芸の杜にて第45回沖縄県工芸公募展を開催したことから順調と判断した。作品の応募総数91点のうち、16点が入賞および入選し、来場者は719人であった。生産者の意欲の高揚、技術、デザイン開発や、競争力の向上に貢献している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○外部委託可能な事務作業については、民間事業者のノウハウを取り入れる等、業務効率化に向けた体制の見直しを行う。 ○従来は実施していなかったSNSを活用した広報で、県民をはじめとした一般来場者の増加を図る。	○委託項目に、申込書受付業務（返送ハガキ対応、出品者リスト更新を含む）を追加し、業務の効率化を図った。 ○SNS広告（Instagram）とラジオ広告を初めて実施し、来場者増に寄与した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	作り手の技術向上という観点から、作品応募者数の増加に向けて取り組む必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	作品募集を工芸産地組合や市町村と連携し、作品募集を周知することに加え、工芸従事者に届くようSNS等での広報方法を検討する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施 策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○伝統工芸に触れる機会の提供
主な取組	webサイト等による情報発信		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・ 工芸品の認知度向上のため、展示会の開催や文化施設等との連携など、県民をはじめ多くの方々へ伝統工芸に触れる機会を提供し、沖縄工芸の魅力や価値の向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県工芸産業振興を図るため、おきなわ工芸の杜webサイトにおいて工芸品やイベント情報等の発信を行う。	県,指定管理者	おきなわ工芸の杜webサイトにおける工芸品やイベント情報等の発信		
		ページ閲覧数(累計)		
		30,000件	30,000件(60,000件)	30,000件(90,000件)
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課	【 098-866-2337 】	関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費			予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額			
県単等	委託	81,369	74,873			
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
企画展やイベント、施設設備等のお知らせ情報を分かりやすく掲載し、施設利用料や入居者募集に関する情報を状況に応じて随時更新した。				企画展やイベント、施設設備等のお知らせ情報を分かりやすく掲載し、施設利用料や入居者募集に関する情報を状況に応じて随時更新する。		

活動指標名	ページ閲覧数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		企画展やイベント、施設設備等のお知らせ情報を掲載。 施設利用料や入居者募集に関する情報を状況に応じて随時更新した。
	-件	36,000件	76,000件	30,000件（60,000件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ホームページ閲覧数が、目標値を上回っていることから順調と判断した。「おきなわ工芸の杜公式サイト」や工芸従事者向けの「おきなわ伝統工芸サポーターズWEB」、観光客向けの「おきなわ工芸ナビ」等、それぞれの目的に沿った情報を効率よく迅速かつ正確に発信することで、来館者の誘客に寄与した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○それぞれのWEBサイトの特性を検証し、必要としている人に情報が届くようホームページの内容を見直す。	○随時実施している体験メニューは常時掲載し、イベントやセミナー関連のお知らせは実施日のカウントダウンを併せて表示するなど、利用者が使いやすいサイトとなるよう工夫した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	ページ閲覧数を維持または増加させるため、利用者がより使いやすいサイトとなるよう工夫する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	S N SアカウントにホームページURLを連携しているため、S N Sでの情報発信を引き続き強化する。